



園のたより 11月号

敬愛クレヨン保育園

令和7年10月28日

www.keiaigakuen.com

Keiaigakuen
君がここにいるから



あきのゆうひに てるやま もみじ
こいもうすいも かずあるなかに
まつをいろどる かえでや つたは
やまのふもとの すそまよう

澄んだ空が一層高く澄み渡り、秋の深まりを感じる季節となりました。パティオの木々も少しずつ色づき始めました。紅葉が真っ赤になるのが今からとても楽しみです。

10月4日(土)の『ハッピープレイデイ』では、お子さま一人ひとりが元気いっぱい表現をしキラキラと輝き、お家の方と共にお子さまの成長を喜び合えたことを大変嬉しく思います。多くのご理解ご協力をいただきありがとうございました。

お子さま達は日々のフィールドワークや行事等を通して、学びあい育ちあい、心も体も逞しく成長されています。今年度も折り返し地点となりますが、これからのお子さまの成長を楽しみにしております。



個人面談について

敬愛クレヨン保育園では、年間を通して「個人面談」をお受けしております。お子さまのこと、子育てのこと、園生活のことでご心配やご不安がございましたら、いつでも担任にお知らせください。日程を調整させていただきます。以下の期間と時間で承ります。

【期間】年間を通して(土・日祝除く)

【時間】13:30~14:40

15:50~16:10

【場所】1階 ミーティングルーム

*お時間は20分程度を予定しております。

ご協力の程よろしく願いいたします。

Enjoy食育

お食事大好き!見て・触れて・作って・食べよう!

~感謝の気持ちを大切に!食べたいもの・好きな
もとの溢れるお子さまに♪~

今月の旬の食材は【りんご・キウイフルーツ・お米】です。旬の食材を持って、栄養士がクラスにお話にいきます。どんな特徴があるかを聞いたり、においを嗅いだり、触れてみたりします。旬の食材に興味を持ち、おいしく食べて元気な体づくりを心掛けてまいります。

~見て・聞いて・感じて・お魚を知る会~

11月12日(水)はいつもお魚を納品していただいている魚屋の“ダイシンさん”が目の前で鮭をさばいてくださいます。「鮭のお腹はどうなっているのかな?」「鮭にはどのような栄養があるのかな?」とお魚屋さんがお子さまにわかりやすく解説をしてくださいます。解体した鮭はその日のお食事でいただきます。多くの方の努力によって食卓にあがるお食事、命を頂くことへの感謝の気持ちが芽生えることを願っています。

令和8年度 入園手続きについて

来年度に入園を希望される方の「八王子市入園のしおり」を、市役所や各事務所等で配布しております。詳しくは、「八王子市入園のしおり」または、八王子市のホームページをご覧ください。



なべっこパーティー

白菜、にんじん、大根、豆腐、さつまいも、しめじなど、たくさんの食材を入れて『なべっこパーティー』を行います。各クラスで野菜をちぎったり、小さく折ったりして、保育園のお子さま全員で作るスペシャルなべっこ汁を作ります。ホープ組・レインボー組・コスモス組のお子さまは、エントランスやイマジンロード（廊下）で、パティオ（中庭）の木々の紅葉を眺めながら一緒に食事を楽しめます。



わくわく園外活動

10月も、各クラスが秋の遠足に出かけ自然の中で様々な経験をしました。

そして11月もホープ組・レインボー組・コスモス組が中西ファームでの収穫体験に出かけます。普段のフィールドワークでは経験することのできないような広い自然の中で全身をのびのびと動かし“健康な心と体”や、園外の公共施設で過ごすことで“社会性”などを育む機会となればと思います。大好きな園バスに乗ってのお出かけ、楽しみですね。

豊かな言葉環境

敬愛学園では『言語教育リーディングチーム』を作り、「めざせ！3000万語の世界～語感を磨く ことばあそびで 日本語名人に～」をテーマに言語教育について学んでいます。

『3つのT』

Tune In

注意とからだを子どもに向けて

Talk More

子どもとたくさん話す

Take Turns

子どもと交互に対話する

*話し始めたばかりの子どもは言葉を見つけるまでの時間があまりにも長すぎて、保護者はつい本能的に子どもが応える前に言葉を先取りしてしまうことがあるでしょう。子どもは、より多くの言葉にふれられるかもしれません。でも、保護者が話してしまうと、会話はそこで終わってしまいかねないのです。自分で単語を探す時間を子どもにあげるかどうか、テイク・ターンズが続くか、会話がそこで終わるか、この違いを生みます。

*過程を基本にしたほめ言葉をより多く聞いた子ども、つまり努力をほめられた子どもは、難しい状況になっても諦める確率が低く、その粘り強さが学校でも生活の中でも良い結果につながると研究を示しています。

著書「3000万語の格差」より抜粋

保育園ではこの『3つのT』を大切にお子さまと対話をしています。「せんせい、あのね、きのうね、あのね…」保育者に一生懸命伝えようとするお子さまには、話そうとしている内容がわかって「…だよね。」と先に話してしまうのではなく、ゆったりとした気持ちで必要最低限の言葉を掛けながらお子さまが自分で話すまで待ちます。そして、「そうだったのね。すごいね。〇〇はどうしたの？」等とさらに対話を深めていきます。また、お子さまの行動をほめるときには具体的に話します。「〇〇ちゃんは、おもちゃをどうぞってできたんだね。△△ちゃんがよろこんでいるね。〇〇ちゃんのお友達にやさしくできるところすてきね。」などと話しをするとお子さまは少し恥ずかしそうにしながらも、何とも言えない誇らしい表情になります。「先生は見てくれていたほめてもらえた・認めてもらえた」この積み重ねから、自信や自己肯定感、前向きな気持ち、協調性などが育まれていきます。これからもお子さまの遊びや行動、気持ちに寄り添い、言葉や声なき声に耳を傾け、お子さまと対話する時間を大切にしていまいます。ご自宅でもお食事の際やお風呂タイム、就寝の前など、お子さまのお話をたくさん聞いてあげてくださいね。そして、どんなお話が繰り広げられたか、是非私たち保育者にも教えてください。